

ICTの活用で、若者が興味を持つ現場！



期待通りのPC200i 今回はICTブルドーザを

今回の現場は、千葉県北西部に位置する柏市の造成工事。広さ9,000m²を整備するのは、柏市に拠点を置く(株)コスモ工業様。導入の経緯を課長の鈴木孝則さんに聞いた。「今回の現場でスマートコンストラクションを導入するのは3回目になります。初めて導入した当時は、オペレータ不足で悩んでいた頃でもあり、いいタイミングで担当営業からスマートコンストラクションの話を知りました。ICT建機でオペレータ不足を補えるのではないかと導入し、PC200iは期待通り精度の高い施工してくれました。その時に、ICTブルドーザの施工性にも興味を持ち、一度、使ってみたいと考えていましたので、この現場にD37PXiを導入しました。」と教えてくれた。



課長 鈴木孝則さん

オペレータ 中島 聖さん
(工藤建設工業(株)様)

千葉県 (株)コスモ工業 様

千葉県柏市に二拠点を置き道路工事を核として造成まで幅広い土木工事を手掛ける。舗装の直営班は30代と若く、この仕事に夢と希望を託す。

掲載月:2017年10月



施工速度の向上で 工期短縮

「すばらしかった！」と話すのは、実際にICTブルドーザに乗った工藤建設工業(株)の中島聖さん。「ブルドーザにはよく乗りますが、ICTブルドーザは、操作に違和感もなく、楽に運転できるので本当に驚きました。」と教えてくれた。鈴木課長に導入した感想を聞いた。「丁張りを設置するには、3名の作業員で測量して、丁張りを設置していく事になります。この現場規模になると、設置する丁張りの数も多く、測量して設置する作業に時間もかかりとても大変なんです。ICTブルドーザを導入したことで、その手間から開放されました。ICTブルドーザを使うと、施工速度も上がり、当初計画に対し、大幅な工期短縮に繋がりました。ICTの活用では、工期短縮や現場の安全性向上というメリットがありますが、若い人達からも興味を持ってもらえる現場になると思います。」と話した。

